



二中だより

さ と く う つ く し く た く ま し く

天童市立第二中学校だより 第1号

令和7年4月21日

文責：校長 五十嵐由美子

令和7年度が スタートしました

一人一人を大切にし みんなが笑顔で生活できる 天童二中を目指します

4月8日(火)に、93名の新入生を迎え、令和7年度入学式を行いました。午前中の着任式、新任式、始業式の後、2,3年生全員で、心を込めて会場や教室の準備を行い、午後の入学式では、真新しい制服に身を包んだ新入生を、あたたかい笑顔と拍手で迎えました。

校長式辞（抜粋）

今日から始まる生活の中で、将来の夢に向かって、かしこく、優しく、力強く成長するために、新入生の皆さんに三つのお話しをします。

一つ目は、「勇気を出して挑戦する」ことです。

人生は選択の連続です。人は新しいことを選択する時不安でいっぱいになることがあります。しかし、勇気を出してやってみる事です。挑戦することで自分の本当の力がわかります。係活動や生徒会活動、部活動や行事、日々の授業など、中学校ではたくさんの挑戦のチャンスがあります。自分から勇気を出して、一歩踏み出して、新しい自分に出会ってください。

二つ目は、「失敗や間違いから学ぶ」ということです。

挑戦しても常にうまくいくとは限りません。間違ふこともあるでしょう。しかし、「どうすれば良かったのだろう」「どうしていきのいいのだろう」と立ち止まって考え、次に活かすことで、失敗や間違いは、自分を高める財産、自分を成長させる栄養に変わります。学級は間違ふところ、学校は失敗していい場所です。失敗や間違いを馬鹿にしたりからかったりしないで、失敗や間違いから学ぶ、みんなで考える、みんなで成長する、そんな学校をつくっていきましょう。

三つ目は、「人との関わり方を学ぶ」ということです。

「みんなちがって、みんないい」という言葉、みなさんもよく知っていると思います。私たちは日々、さまざまな人と関わりの中で生きています。その違いをまるごと受け止め、その良さに目を向け、相手の気持ちを考え、よい関係を作っていく力は、学校という大勢の人の中でこそ身につけられる力であり、卒業した後も役に立つ大切な力です。けんかしたら上手に仲直りする方法を身につけるチャンス、自分を振り返るチャンスと捉えることです。まずは、笑顔で、自分からあいさつする、「ありがとう」と口に出して相手に感謝を伝えるところから始めましょう。

保護者の皆さま、今日は、お子様のご入学、心よりお喜び申し上げます。思春期を迎える中学生は、心も身体も大きく変化し、子育てに難しさを感じることもあるかと思われます。これからの不透明な時代を、たくましく、そして、しなやかに生きていくために、大人が「転ばぬ先の杖」になるのではなく、上手な転び方や、転んだ時の起き上がり方を教えていくことも大切だと考えます。ともに手をつなぎ、多少の困難にも負けない、たくましく前向きな子ども達に育てていきましょう。



新入生を迎えることば（抜粋）

生徒代表 3年生

今、みなさんはこれから始まる新たな学校生活に夢や希望を持たれていると同時に、慣れない環境への不安を感じているかもしれません。二年前の私も、緊張で胸がいっぱいになりながらこの入学式を迎えたことを、鮮明に覚えています。新しい友達をつくることのできるだろうか、新しい先生は、どんな人だろうか……。新しいことは、わくわくする気持ちをもたらしけると同時に、不安な気持ちをもたらしすものでもあります。しかし、今日からみなさんは、私たちの仲間です。同じ二中で過ごす仲間として、二中学生の誇りを胸に、今日から共にがんばっていきましょう。



生徒会会長として、私は今年度「一人一人を大切に、みんなが笑顔で生活できる学校」をつくっていきたいと考えています。私をはじめ、ここにいる在校生は、みなさんをサポートする準備を整えて今日を迎えました。同じ学校をつくる仲間として、今日からは安心して私たちを頼ってください。「みんなが笑顔で生活できる学校」を実現させるために、私たち在校生は、新入生のみなさんの力になりたいと思っています。

また、二中には頼りになる先生方がいらっしゃいます。私たちに本気で向き合ってくれる先生方です。みなさんの中学校生活のスタートに、優しく寄り添ってくださると思います。

「みんなが笑顔で生活できる学校」をつくっていくためには、一人一人が「本当の優しさ」を身につけ、それを行動に表すことが必要だと私は考えています。新入生のみなさんは、「本当に優しい姿」とは、どのような姿だと考えますか？私は、見えないところで人のために行動できる姿が、本当に優しい姿だと思います。一人一人ががんばることが、二生みんなのためになり、学校のためになります。一人一人が、本当の優しさを行動に表すことができたとき、みんなが安心して生活できる、みんなが笑顔で生活できる学校が実現できると思います。そのために、新入生のみなさんの力を貸してください。今日から私たちと一緒に、理想の二中を実現させていきましょう。

新入生代表のこぼ（抜粋）

新入生代表 1年生

今日から始まる中学校生活に、私は大きな期待と少しの不安を感じています。新しい友達との出会い、新しい授業や運動、様々な行事を通して自分の目標をしっかりと持ち、日々努力していきたいと考えています。私はサッカーが大好きで、小さい頃からサッカーチームに所属し、練習に励んできました。サッカーを通して、仲間と協力することの大切さや、最後まであきらめないことの大切さを学びました。試合で勝ったときの喜びはもちろんですが、負けた時の悔しさもまた、自分を成長させてくれた大切な経験です。中学校では、さらにレベルの高いプレーが求められると思います。体力も技術もこれまで以上に必要になりますが、自分の可能性を信じて努力を重ねていきます。

さらに、私は将来の夢を叶えるために、勉強にも力を入れていきたいと考えています。サッカー選手として活躍するのももちろん大切ですが、将来、どのような道に進むことになったとしても、自分の夢を実現させるためには学ぶ力が必要です。だからこそ、サッカーと勉強の両立を目指していきたいと思っています。

これからの中学校生活では、勉強も運動も全力で取り組み、どちらも決して中途半端にせず、自分の目標に向かって努力を続けていきたいと思います。サッカーで得た忍耐力やチームワークを勉強に活かし、勉強で得た思考力をサッカーに役立てることで、自分をさらに高めていきたいです。

最後に、私たちを支えてくださる先生方や先輩方、家族や友人への感謝の気持ちを忘れずに、これからの中学校生活を充実したものにしていきたいと思います。そして3年後、卒業するときに、「この学校で頑張ってきて良かった」と胸を張って言えるように、毎日の一歩一歩を大切に過ごしていきます。



PTA 代表様より
温かいお言葉をいただきました



これから始まる新しい生活では
たくさんの出会いがあります



きりっとした表情
とても頼もしい姿です



どうぞよろしく！ 1学年担任団です